

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



函館市北洋資料館

No. 144 函館商工会議所報
1993——8月号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL.22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 - 1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 - 3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 - 6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 - 1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 - 6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 - 2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52 - 0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 - 2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 - 3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65 - 2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 - 5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2 - 3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 - 1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5 - 5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 - 5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オートローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ8月号(通巻144号) 目次

今月の表紙／視点……………255
 会議所の動き……………1

・本所部会幹事会・国際交流委員会等を開催

・社員採用合同企業説明会開催

・第一回振興委員連絡会議開催

・道路関係合同中央陳情

・市内三経済団体三役懇談会

・函館港まつり一万人踊りパレード

・函館地区珠算競技大会開催

・サハリン州を友好親善訪問

データをチェック……………6

調査レポート……………6

・地域の景気 金融経済概況 七月……………9

・市内第一種大規模小売店舗売上高 七月……………9

・函館地域の経済動向 平成五年年度 第一四半期……………9

誌上講演……………10

・エイズと企業・予防と対策……………11

・人を活かす……………11

共済推進コーナー……………12

・暮らしのワンポイント……………12

・さわやか君……………12

・有段を目指して 詰碁・詰将棋……………13

アドバイスコナー……………14

・公的年金制度のしくみ……………15

Q & A……………16

・みんなの相談室 税務相談……………17

ご案内……………18

・函館商工会議所「会員懇親の集い」……………20

・災害資金のご案内……………20

・検定試験のお知らせ……………20

・刊行物のご案内……………20

・ご利用下さい！本所の個別専門相談……………20

◇今月の表紙

函館市北洋資料館

「函館市北洋資料館」は、函館の先人達が厳しい北洋の自然の中で、どのように漁業を発展させてきたのかを学ぶことができる施設として、昭和五十七年九月、市内五稜郭町の旧函館商業高校跡地に建てられた。館内には、過去の北方漁業、北洋漁業の姿とともに、今後の北洋漁業のあり方などについて、開拓の歴史に関する文献や実物標本、模型など約千点余の資料を使い、解り易く紹介している。そのなかでも、前方のスクリーンに、北洋の荒海を見ながら動く仕組みとなっている「北洋航海体験室」や、北洋の未来を映像で紹介するマルチシステムなどが来館者を楽しませている。

視点



八月ともなり、夏真盛りの季節となったわけですが、今一つ、夏らしい気分といかないのは残念です。

今年は六月末から七月初旬にかけ、約十日間程、間もなく盛夏到来を思わせる天気が続きましたが、その後は、昭和六十三年の青函博の時と似たような涼すぎる日が続いており、カラッとした夏日が待たれています。

所で先の七月には、予期していなかったことが二つ起きました。その一つは、内閣不信任案の可決により衆議院が解散し、七月四日に選挙告示、七月十八日投票の衆議院選挙です。この選挙では永く続いた自由民主党政権の、一党独占の是非を問うことでしたが、結果として保守系新政党の大躍進、そして社会党の大幅議席減ということに終りました。選挙の結果は出ましたが、この難かしい政治経済情勢を乗切するためにも、一刻も早く安定した政治体制を作って欲しいものです。日本は経済大国の一つとして、その責務を問われていることもあり、匡すべきところは匡し、継続すべきものは継続し、長期的展望のもとに、国民の期待に沿った行政が行われることが要望されています。もう一つは、七月十二日夜の北海道南西沖地震で、M七・八でしたが、奥尻島では直下型に近いということもあり、震災と津波そして火災による大被害を生じました。函館でも港湾施設を中心に百億近い被害と推定されています。これに対して全滅に近い奥尻島を中心に、全国より暖い援助が行われ、一刻も早い立直りが期待されています。

**会議所を挙げて会員増強を推進
本所部会幹事会等を開催**

六月二十八日開催の本所第四回

通常議員総会において、本所の財

政健全化計画を推進していくため

常時四千件以上の会員を目標とし

て、会議所を挙げて会員増強運動

を行うことが決定していますが、

具体的な会員募集については、各

部会幹事会で対応することになっ

ており、このたび協議事項を含め

このための幹事会が次のとおり開

催されました。

**会 議 所
の 動 き**

● 理財部会幹事会

(七月六日開催)

- (1) 最近の経済情報について
- (2) 合同部会の開催について
- (3) 会員募集について

● 運輸港湾部会幹事会

(七月六日開催)

- (1) 函館港湾計画の進捗状況について
- (2) 合同部会の開催について
- (3) 会員募集について

● 農水産部会幹事会

(七月七日開催)

- (1) 会員募集について
- (2) 合同部会の開催について

● 観光サービス部会幹事会

(七月八日開催)

- (1) 函館市の観光振興について
- ① 函館市のイベントのあり方について
- ② 通年観光対策について
- (2) 会員募集について

● 商業部会幹事会

(七月九日開催)

- (1) 最近の商業調整状況について
- (2) 会員募集について
- (3) 合同部会の開催について

また、運輸港湾・工業の両部会

では、前任者の退任により空席と

なっていた副部会長の補充選任を

行うための部会がそれぞれ開催さ

れましたが、北海道南西沖地震の

ため開催が遅れた工業部会では、

会員募集の時期も、八月末迄延伸

することとなりました。

両部会での副部会長選任の結果

は、次のとおりです。

なお、任期につきましては、い
ずれも前任者の残任期間となりま
す。

運輸港湾部会(七月二十一日開催)

小 家 正幸 日本通運(株)

函館支店

小 島 正克 北海道旅客鉄道(株)

函館支社

工業部会(七月三十日開催)

関 守 北海道日産化学(株)

沖山 雅雄 北海道瓦斯(株)

函館支社

国際交流委員会

平成五年度第一回国際交流委員
会が、去る七月二十六日、本所会
議室で開催されました。

会議では、五月に函館市中国友
好訪問代表団が宮口市を訪問した
際提示された対外経済技術協力プ
ロジェクトと、日本料理店の共同
経営の可能性等について、今後関
係団体と協議することとなりました。
また、本所が参加協力をした
「北海道フェア・イン・ウラジオ
ストク」の結果も報告されました。

この度の北海道南西沖地
震により、被災されました
皆様方に対しまして、心か
らお見舞い申し上げますと
ともに一日も早い復興をお
祈り申し上げます。

函館商工会議所

優秀な人材確保を目指して 社員採用合同企業説明会開催

函館商工会議所と(社)函館地方法人会の共催による平成六年度社員採用合同企業説明会が去る七月二十三日、函館ハーバービューホテルにおいて開催されました。

依然として続く厳しい経済情勢を反映し、来春の採用手控えが増加している状況ではありますが、七月一日から始まった新規大卒者等の、就職活動に合わせ、地元企業三十一社が参加して開かれたものです。



▲熱気溢れる説明会の会場

新規大卒者及びUターン就職希望者にとっては、より厳しい就職戦線となっていますが、一方、迎

第一回振興委員連絡会議開催

本年度の第一回小規模企業振興委員連絡会議が去る七月二十二日、本所において開催されました。

当日は、本年度新たに委嘱された委員を含めて十九人(新定数三十人)が出席し、事務局より平成五年度事業計画の重点事項である青函インターブロック交流圏構想の推進や、高速交通体系の確立と函館港の整備促進等について説明がなされました。

また、この度の北海道南西沖地震における災害対策資金や、低利の公的各種制度資金の積極的活用方について説明がなされるとともに、十月六日に開催される会員懇親の集いのP・R方も要請しまし

える企業側においては、優秀な人材確保の絶好の機会でもあります。当日会場を訪れた四百余名の学生に対し、企業側は個別面談方式で、他社にはないユニークさなど自社のP・Rに努め、熱気溢れる説明会となりました。

た。

さらに、現在展開中の新会員の増加運動の一環として、傘下組合員の中の本所非会員の加入について協力依頼がなされるなど、本所と組合員との太いパイプ役でもある振興委員の、より積極的な活躍が期待されています。

道路関係合同中央陳情

北海道及び北海道開発幹線自動車道建設促進期成会(会長・横路北海道知事)ほか道路関係二団体による、本道の道路整備促進のための合同中央陳情が、去る七月二十八日実施され、本所から松本副

会頭が参加しました。

今回の陳情は、今年度から実施の第十一次道路整備五箇年計画を、明年度も着実に推進させるため、道路財源の確保と、道路事業の一層の推進について行われました。

当地域の関係では、道縦貫道七飯・長万部間の早期着工と高規格幹線道路の函館・茂辺地間の早期完成を中心に関係国会議員ならびに関係省庁に対して強力な陳情を行いました。

市内三経済団体三役懇談会

本所と亀田・銭亀沢両商工会の三役懇談会が、去る七月十六日、五島軒駅前店において開催されました。

会議では、各団体毎の事業計画について説明がなされ、地域振興、組織運営等について熱心に話合われました。また、特に三団体の統合問題に関しては、一歩踏み込んだ意見の交換が行われました。なお、この問題については、今後も継続して話合っていくことになりました。

開港14周年記念函館港まつり 一万人踊りパレード開催

函館の夏を彩る開港百三十四周年記念函館港まつりが、今年も八月一日から七日間にわたり、賑やかに繰り広げられました。

今年度は全国花火大会が、この度の北海道南西沖地震による被災者への配慮から、とりやめとなるなど、一部内容の変更を余儀なくされましたが、しかし、まつりの目玉である「一万人踊りパレード」については、予定どおり八月二日三日の両日にわたって開催されました。特に今年はいよいよパレードで地震



▲本所も揃いの浴衣で参加

被害に対する義援金などについて沿道の見物客の方々に呼び掛けを

自慢の技を競う！

函館地区珠算競技大会開催

本所主催による第四十六回函館地区珠算競技大会が、七月十八日本所で開催されました。

今大会には、九十二人が参加し、それぞれ一般・高校の部、中学校の部、小学校の部にわかれて日頃の技を競いました。

団体・個人競技では乗算、除算、見取暗算、見取算、伝票算、応用計算の六種目、種目別競技では読上暗算、読上算の二種目が行なわれましたが、団体・個人競技の上位入賞者は、九月十二日に当函館市で開催される第五十一回全道珠算競技大会に函館地区代表選手として出場できることもあり、各種目で熱戦が展開されました。

(団体)

行いました。

なお、本所役職員も例年どおり、婦人会ともども揃いの浴衣で参加し、沿道の見物客から盛んな声援をいただきました。

サハリン州を 友好親善訪問

函館とユジノ・サハリンスク間の定期航空路開設の促進、サハリノ州並びにユジノ・サハリンスク市との友好親善を図ることを目的に、木戸浦市長を団長(副団長、若林会頭、本間市議会議長)とする代表団及び青森からの参加者一行を含め、計百八名の参加者が七月六日から九日までの日程で、同市を訪問しました。

今回の訪問では、クラスノヤールフ知事、ファルフデイノフ市長を始め、航空関係者、経済団体関係者らと、積極的な意見交換を行い、来年四月に予定されている定期便就航に向け、相互に協力し合うことを確認しました。なお、七月二十一日秋田市で開催された第十四回日口沿岸市長会議に出席したファルフデイノフ市長が帰路来函(七月二十三日から二十五日)、市内を視察し、市長、会頭を始め関係者と懇談しました。

高校の部 東高校
中学校の部 桐花中学校

(個人)

「そろばん函館一」
野田 祐樹(教育大)
八木 泰樹(桐花中)
「そろばん小学生函館一」
荒谷 早紀(金堀小)

(種目競技)

読上暗算
第一部 野田 祐樹(教育大)
第二部 八木 泰樹(桐花中)
第三部 尾形 知則(青柳小)
読上算
第一部 千葉 弥佳(商業高)
第二部 宗山まどか(上磯中)
第三部 山本 梢太(谷川小)



事務局日誌

7月

*正副会頭会議

16(金) 第42回正副会頭会議

29(木) 第43回正副会頭会議

*部 会

- 6(火) 理財部会幹事会
 - ◇ 運輸港湾部会幹事会
- 7(水) 農水産部会幹事会
- 8(木) 観光サービス部会幹事会
- 9(金) 商業部会幹事会
- 21(水) 運輸港湾部会
- 30(金) 工業部会

*委 員 会

26(月) 国際交流委員会

*会 議 (日 商)

- 14(水) 第1回労働産業・経済合同委員会
- 15(木) 第32回中小企業・流通合同委員会
 - ◇ 第417回常議員会
 - ◇ 第124回議員総会

*会 議 (道商連)

1(木) 北海道ブロック中小企業相談所長会議

*㊟ 審 査 会

20(火) 小企業等経営改善資金審査会

*諸 会 議

- 1(木) 開港134周年記念函館港まつり協賛会関係打合せ会議
- 2(金) (社)函館観光協会第3回理事会
- 5(月) 函館港湾振興会第2回役員会
- 6(火) 開港134周年記念函館港まつり協賛会理事会、総会
 - ◇ 函館シンガポール協会理事会、通常総会、懇親会
- 7(水) 北海道通産局長高梨圭介氏を囲む懇談会
 - ◇ 本所、函館市亀田商工会・銭亀沢商工会事務局長会議
 - ◇ 婦人会7月例会
- 13(火) 日銀函館支店長との定例四者懇談会
- 14(水) 経済懇談会開催に伴う北海道経済連合会との打合せ会議
 - ◇ 産業デザインセミナー講師平野拓夫氏を囲む懇談会
- 15(木) 函館地域技術担い手づくり推進協議会
- 16(金) 本所、函館市亀田商工会・銭亀沢商工会との三役会議
 - ◇ 平成5年度障害者職場見学会打合せ会議
- 19(月) (社)函館観光協会との打合せ会議
- 20(火) 北海道高齢者雇用推進協議会
 - ◇ 65歳継続事業函館地区事業推進会議
 - ◇ 所報「ともえ」8月号 No.144編集会議
- 21(水) 箱館奉行所復元期成会幹事会
 - ◇ 開港134周年記念函館港まつり協賛会理事会
 - ◇ 北海道労働保険事務組合連合会道南地区協議会平成5年度通常総会
 - ◇ 第3回函館老人保健福祉計画策定検討委員会
- 22(木) 婦人会緊急例会
 - ◇ 北海道納税推進運動渡島地方支部委員会
 - ◇ 平成5年度第1回振興委員連絡会議
- 23(金) 函館港まつり万人踊りパレード参加団体責任者会議
 - ◇ 平成6年度社員採用合同企業説明会

- 24(土) 函館デザイン協議会設立総会及び設立記念懇親会
- 26(月) はこだてFM放送局FMいるか807第3回番組審議会
 - ◇ ～30(金) 経営指導員研修(簿記・税務会計)
- 28(水) 独占禁止懇談会
 - ◇ 第31期中小企業診断士養成課程総合診断実習に係るカリキュラム検討会
 - ◇ 箱館奉行所復元促進期成会役員会、総会
 - ◇ 第1回湯の川温泉活性化事業計画策定部会
- 29(木) 第31期中小企業診断士養成課程(広域商業部門)
- 30(金) 函館市老人保健福祉計画策定検討委員会

*講 習・催 物

- 1(水) 第27回東北の観光と物産展
- 14(水) 経営相談
- 21(水) 発明相談
- 30(金) 法律相談

*刊 行 物

所報「ともえ」7月号 No.143

*相 談・診 断

金融	104	税務	236	経理	8	経営	23	労働	0
		取引	0	その他	0	合計	371		

*貸 室 15

*文 書 受信 279 発信 25

*検 定・大 会

- 11(日) 第17回3級ワープロ技能検定試験
- 14(水) 第32回3級販売士検定試験
- 18(日) 第46回函館地区珠算競技大会

*陳 情・要 望

28(水) 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会及び道路関係二団体合同中央陳情

*慶 弔・そ の 他

- 1(木) 函館税関長小山力氏着任挨拶
 - ◇ 第27回東北の観光と物産展一行表敬訪問
 - ◇ 函館市国際交流プラザ開館式
 - ◇ N T T元町三六館開店1周年記念パーティー
- 2(金) 函館どつく(株) 榊津社長表敬訪問
- 3(土) 開港134周年記念函館港まつり「ミスはこだてコンテスト」
- 6(火)～9(金) ユジノ・サハリンスク訪問直行チャーター便「サハリン友好の翼」
- 7(水) 海上自衛隊大湊地方総監来函に伴う歓迎会
 - ◇ 海上自衛隊大湊地方総監表敬訪問
 - ◇ 北海道通産局長高梨圭介氏表敬訪問
- 12(月) 日本航空(株) 函館支店新旧支店長・仁井健治氏、西山龍美氏挨拶
- 15(木) 丸井今井(株) 今井相談役表敬訪問
- 16(金) 北海道東北開発公庫小川理事就任挨拶
- 19(月) 平成5年度函館市勤労青少年優良者表彰
- 20(火) 第53回海の記念日記念式典海関係功労者表彰式
 - ◇ 函館税務署長赤澤國孝氏、副署長山崎恵宣氏、総務課長坂下晃康氏着任挨拶
- 21(水) 北海道東北開発公庫原北海道支店長表敬訪問
- 22(木) 函館工業高等専門学校情報工学科棟竣工披露、祝賀会
- 23(金) ユジノ・サハリンスク市長との懇親会
- 24(土) 第18回高田屋嘉兵衛まつり顕彰、慰霊式、祝賀会
- 26(月) 平成5年度ミスはこだて表敬訪問
- 27(火) 公正取引委員会北海道事務所長表敬訪問
- 28(水) ウラジオストック市との姉妹都市提携一周年記念パーティー
- 30(金) 姉妹都市レイク・マコーリー市一行歓迎夕食会
- 31(土) 北海道日中青少年交流協会主催中国交流団歓迎会

回った。この間、建設業者の仕事繰りは、引続き民間設備投資関連が不冴えな反面、公共工事、住宅投資関連が好調。なお、地震の影響について窺うと、一部に現状手持ち工事の中断や護岸工事現場の被害発生等から工事進捗の遅れが生じているところもあるが、全体としては5年度予算の公共工事が高水準に発注されているなかでの被害発生もあり、むしろ今後本格的な災害復旧工事の増加に伴い繁忙感が高まっていくものとみられる。

(5) 農・漁業

農業では、天候不順が続き、水稻等農作物の生育がやや不良となっているが、野菜の出荷は順調であり、価格も例年並みに推移。松山北部の農業地帯では地震により、農地、灌漑施設等に広範な被害が出ており、今後の農作物生育への影響も懸念される。漁業では、近海真イカ漁の水揚げ量が低調裡に推移しているほか、漁期入りしたコンブ漁も、6月初旬の低気圧通過による流出被害や天候不順による採取作業の遅れから、足許例年を下回る水揚げ量となっている。松山北部の沿岸では地震により、漁港、沿岸漁業用の漁船等に甚大な被害が出ており、今後の水揚げへの影響が懸念される。

(6) 消費関連

6月中の市内大型小売店(10店)の売上高は、アクセサリ等小物に動意がみられるものの、天候不順により夏物衣料が不振であったこと等から、10カ月連続の前年割れ(マイナス6.2%)となっており、足許の中元商戦の動向も法人需要の減退からやや盛上りを欠

いている。耐久消費財では、新車自動車販売が、大・中型車が依然として不振なことから前年比マイナス2.9%と3カ月連続の前年割れとなったものの、家電販売は、冷蔵庫等白物家電を中心に底打ち感が窺われている。

この間、観光・レジャー面をみると、法人筋の旅行需要減退を主因に、交通機関利用客数、ホテルの宿泊客数が前年割れとなったほか、観光施設の入込みも前年を下回っておりやや盛上りに欠ける展開。また、地震の影響については、今のところ団体ツアー予約のキャンセル等の動きは目立って表れてはいないものの、夏場のトップシーズンを前に観光客入込みの減少を懸念する声も聞かれる。

3.金融事情(6月中)

実質預金は、法人預金が引続き低調裡に推移したほか、公金預金の取崩しもみられたことから、月中111億円と前年の176億円を下回る増加となった。また、貸出しも運転・設備需資とも、盛上りを欠いたことから、月中2億円と前年のマイナス14億円に比べて小幅増加に止まった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短期、長期とも低下し、全体では月中マイナス0.032%の小幅低下となった。

銀行券は、ボーナス資金の支払いを主因に月中56億円の発行超と前年の43億円をわずかに上回った。

財政収支は、租税、保険等の受入が嵩み、前年の29億円に比べて月中46億円の受超となった。

データをチェック!

少ない休暇と一極集中

～ 夏と正月に休みが偏る ～

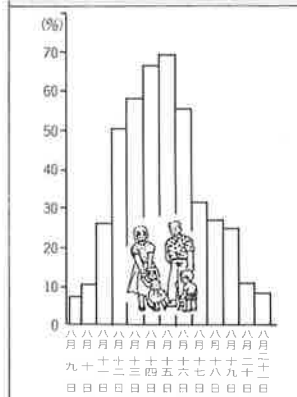
日本人の余暇活動が一定のレジャーに偏り、しかも同じ時期に集中しているのは、連続した休日や休暇の少なさが一因です。

日本の休日日数は、欧米諸国と比べると年間6～10日も少なく、逆に労働日数は17～30日も多くなっています。また、夏期休暇を実施した国内企業の平均休暇日数は5日余りと、欧米諸国の3週間ないしはそれ以上に比較しても、余りにも少ないといえます。

確かに日本では、年次有給休暇が取りにくいという状況にあります。これは、まだまだ職場内で暗黙のうちに年次有給休暇の使い方に対する規制が働いているからではないでしょうか。この状況が余暇時間の“一極集中”を生み出し、個人の自由時間を好きなときに取ることを妨げる原因にもなっています。事実、日本人の休暇は正月休みとお盆休みなど、一時期に集中しています。

そのため、交通機関やレジャー施設などが混雑し、通常より価格も高くなる——満足度が低いという結果になっているのです。

夏休みとして3日以上連続休暇をとった人の比率



地域の景気

金融経済 概況 6月

(平成5年7月29日発表)

日本銀行函館支店

1. 概況

管内経済は、公共投資の好調、住宅投資の回復傾向に加え、一部製造業の生産が徐々に上向き始めるなど、景気底入れの兆しが窺われているものの、市内大型小売店等個人消費関連の売上が総じて低調に止まっているほか、観光客の入込みも足許一服状態となっている。

すなわち、製造業では、新造船、橋梁の受注消化に努めている造船、合板機械がまずまずの生産水準を維持しているほか、水晶振動子が欧米向け輸出の好調から、セメントが公共需要の堅調から、ともに高水準の生産態勢を維持、また、米国向け輸出が好調な半導体に加え、水産加工でもこのところ生産が上向きつつある。一方、製缶機械は消費需要の低迷から引続き低調な生産となっている。非製造では、市内大型小売店の売上が引続き前年割れとなったほか、新車販売台数も前年を幾分下回ったものの、家電販売では底打ち感が窺われている。また、建設業者の仕事練りをみると、民間設備投資関連は不況ながら、公共、住宅関連は引続き高水準の仕事量を維持している。この間、観光は法人筋の旅行需要減退等を映じ、やや盛上がり欠ける展開となっている。

農業では、水稻等の生育が天候不順から遅れている。漁業でも、近海真イカ漁の水揚げが低調裡に推移しているほか、コンブ漁も6月初旬の低気圧通過による流出被害等から、例年を下回る水揚げとなっている。

こうしたなか、7月12日に発生した北海道南西沖地震が管内経済に与える影響については、管内経済の中核である函館市の被害が一部に限定されているほか、JR、空港等主な交通機関も比較的早い時期に復旧したため、地震の規模の割には、全体への影響は今のところ小さなものに止まっている。もっとも、

松山地方北部の第1次産業に対する被害が大きく、災害復旧事業の速やかな実施が期待される。また、観光面では、夏のトップシーズンを前に当面の入込み減少を懸念する声が上がりに始めている。

6月の金融動向をみると、預金は法人預金の低調から前年を下回る増加となったほか、貸出しも運転・設備需資ともに盛上がりを欠き、小幅増加に止まった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、長期、短期とも引続き低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械・電子部品

水晶振動子では、欧米向け移動体通信関連の好調から高水準の生産を続けている。造船は、新造船、橋梁の受注残消化からまずまずの操業度となっているほか、合板機械も豊富な受注残を抱え、やや高め生産水準を維持している。半導体は、米国向け輸出が好調な4MDRAMに加え、その他製品需要も足許増加してきているため、全体的に操業度が上向きつつある。一方、水産加工機械は、受注残高が前年並みを維持しているものの、前年の輸出好調の反動から売上は前年を下回っているほか、製缶機械では、消費関連需要の回復遅延から生産の低迷が続いている。

(2) 食料品

水産加工品は、生鮮珍味が底固い売れ行きを続けていることに加え、乾燥珍味も原料安を映じた納入価格の低下が続いているなかで、数量的には持ち直し傾向にあることから、全体の売上金額は1年振りにわずかながら前年を上回った。この間、飼料・魚油は前年を下回る売上を続けている。

(3) その他製造業

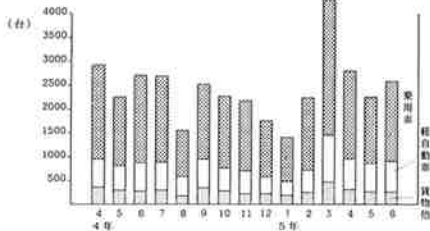
セメントは、公共需要を中心に足許フル生産態勢で臨んでいる。もっとも、生コンの出荷は天候不順による工事の遅れ等から、また段ボールの生産・出荷は青果物向けの不振から、ともに前年を下回っている。さらに合板では、安値代替品への需要シフトや競合する輸入製品の流入増から出荷が減少しており、抑制的な生産姿勢を継続しているほか、漁網の生産も需要の低迷から依然低調裡に推移。

(4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注額(6月末累計)は、各官庁の積極的な早期発注姿勢を映じてプラス14.7%と引続き前年を上回った。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数(6月)は、持家、分譲が前年を下回ったものの、貸家が高い伸びを示したことから全体ではプラス4.0%と2カ月振りに前年を上

車種別では乗用自動車が4,925台で同5.8%の減少、貨物・その他が972台、同8.9%の減少、軽自動車だけが1,731台で前年同期を9.5%上回り増加基調に転じている。

〈図-3 新車登録台数〉



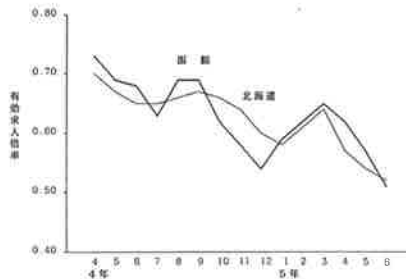
4. 雇用情勢

第1四半期の函館職業安定所管内の雇用情勢は、月平均有効求職者数が7,196人で前年同期に比べ11.6%の増加、月平均有効求人数は4,069人で同10.0%減少し、有効求人倍率は前年同期を0.13ポイント下回る0.57倍となった。(パートの常用分含む)

5. 企業倒産状況

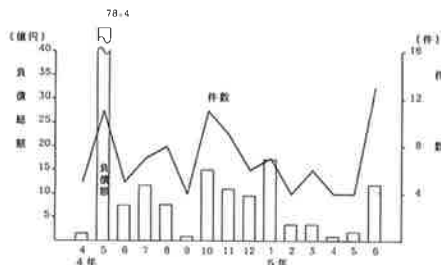
第1四半期の管内企業倒産は、21件で前年

〈図-4 雇用情勢〉



同期と同件数、負債総額は14億4,000万円で大型倒産が発生した前年同期に比べ83.5%の減少となった。(負債額1,000万円以上、内整理を含む)

〈図-5 企業倒産状況〉



函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成5年6月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,745,103	95.8	89.5
身の回り品	675,408	103.4	97.9
雑貨	633,983	83.4	96.8
家庭用品	856,132	136.6	88.1
食料品	1,740,947	94.8	96.1
食堂・喫茶	137,216	87.9	97.4
サビス	99,185	102.8	85.3
その他	522,891	102.0	115.4
総計	7,410,865	98.7	93.8

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

函館地域の 経済動向

平成5年度 第1四半期

平成5年度第1四半期の函館地域の経済動向は、公共関連工事が各官公庁の積極的な早期発注姿勢を映じて堅調な伸びを示したほか、一部生産活動に回復の兆しが窺われたものの、個人住宅、大型店売上、新車販売の低迷に見られるように、消費関連需要が引き続き停滞していることから、景気の回復に向けては依然足踏み状態が続いている。

1. 公共事業発注状況

平成5年度の函館管内公共事業関連予算額（年度当初予算）は、総体で887億5,000万円の前年度当初（911億円）より23億5,000万円、2.6%下回っている。

第1四半期までの実績では、発注額が542億2,400万円の前年同期に比べ、32億3,000万円、6.3%増加しており、発注率は60.6%となった。

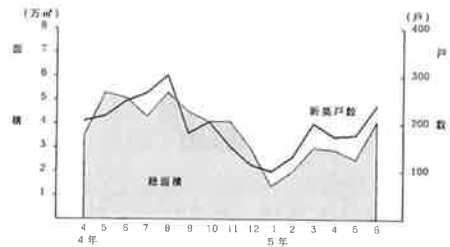
機関別にみると、函館開発建設部が発注額280億7,400万円、発注率60.5%で、前年同期に比べ14億6,700万円、5.5%の増加となっており、函館土木現業所では発注額196億2,300万円、発注率65.2%で、同35億4,600万円、22.1%増加している。一方、函館市では発注額が65億2,700万円、発注率31.7%で、前年同期を17億8,300万円、21.5%下回っている。

2. 建築着工状況

第1四半期の函館市内建築着工状況は、建築物床面積合計が94,994㎡で前年同期に比べ31.4%の減少、うち住宅部分床面積は69,044㎡で同24.6%減少した。

また、住宅総戸数は675戸で同20.8%の減少。うち増改築が86戸で同52.5%の大幅減、新築住宅も589戸で12.2%減少したが、内訳は持ち家が340戸（前年同期比14.8%減）、貸家が203戸（同3.6%増）、分譲・その他が46戸（同39.5%減）となっている。

〈図-1 建築着工状況〉



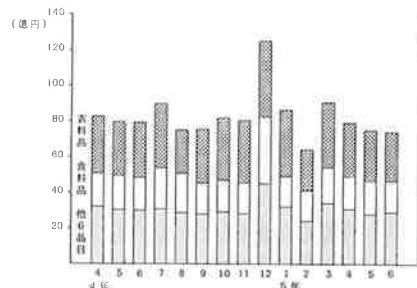
3. 個人消費

①大型店売上高

第1四半期の市内第一種大型店売上高は、総額で228億4,667万円、前年同期に比べ5.2%の減少となった。

品目別では主力の衣料品が86億665万円と同7.0%減少と引き続き低迷、もう一方の主力食料品も54億353万円、同3.1%減少と振るわなかった。以下身の回り品20億3,784万円、同8.9%減、雑貨22億800万円、同0.7%減、家庭用品22億4,405万円、同9.2%減といずれも前年同期を割り込んでいる。（ニトリ家具を除く10店舗、消費税分除く）

〈図-2 大型店売上状況〉



②新車登録台数

第1四半期の管内新車登録台数は、7,628台で前年同期に比べ3.1%の減少となった。

人権擁護と差別の禁止 ～感染者を守る勧告と法規制



エイズと企業 — 予防と対策 — (3)

エイズ予防財団 専務理事
医学博士 山形 操 六

□ WHO (世界保健機関) と ILO (国際労働機関) の 勧告

WHOとILOは、HIV感染者を差別から守るために勧告をしている。

- ①入社時および入社後のHIV抗体血液検査の禁止
 - ◎企業が健康診断時や入社時の採用試験などの際に、血液検査を実施することは、たとえ本人の同意を得たとしても強制とみられる可能性があるので、問題となる。
- ②プライバシーの保護と差別の禁止
 - ◎HIV感染従業員本人の同意なしに、他人に感染の事実を知らせてはならない。
 - ◎感染者には他の疾病（がん、心臓病、糖尿病、肝炎など）と同等の処遇を与えること。

□ 国内の法規制

- ①エイズ予防法
 - 第1条：国および地方公共団体の責務として、エイズの患者等の人権の保護に留意。
 - 第3条：国民の責務として、エイズ患者等の人権が損なわれないように…。

第14条：罰則規定

医師が、感染者であるかどうかに関する健康診断またはエイズの治療に際して知り得た人の秘密を正当な理由なく漏らしたときは、「1年以下の懲役または30万円以下の罰金」に処する。

秘密保持違反については、公務員や公務員であった者についても同様の罰則が課せられる。

②労働安全衛生法

第100条：事業者が行う健康診断の実施の事務に従事した者についても、守秘義務を課せられる。

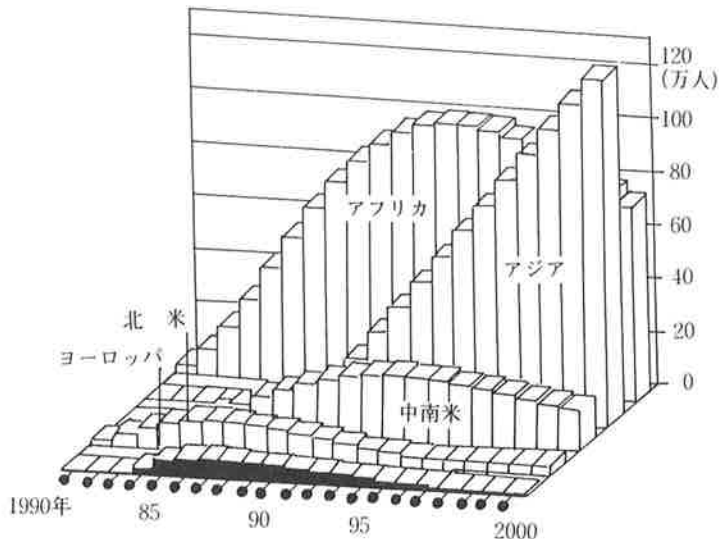
医師、薬剤師、看護婦、検査技師などはもちろんのこと、エイズ治療薬使用を知った事務職員にも守秘義務は生ずるのである。

つづく

【山形操六(やまがた・そうろく)氏の略歴】

大正7年東京生まれ、昭和18年慶応義塾大学医学部卒。28年岩手県衛生研究所長。31年厚生省入り、医務局国立病院課勤務。45年千葉県衛生部長。46年環境庁発足時、初代の大気保全局長。62年財団法人エイズ予防財団専務理事。

年間 HIV 感染発生数推計



人き活かす ③

人間は、「自分にはこのような能力がある」、「自分はこうなりたい」と強く意識し、その意識を持ち続けるとそれが実現するという考え方がある。これは、自分の心のなかに一つの心理状態を意識的に作っていくことであり、実際の問題としてはそう簡単なことではない。

そこで、その人に手助けをして、その人の資質を引き出すことを考える。いずれにしろ、資質が見えてこないことには、人を活かすこととは難しい。そのための手段の一つが、「ホメ活かし」である。

「ホメ殺し」という言葉が目についた時があった。なにごととも、「殺し」では世の中が暗くなる。「活かし」と明るくなる。「ホメ活かし」は、なんでもいいからすべてホメるのである。ホメたことによって、その人の能力が実際に現

ホメ活かし

ユーズブランニング株式会社
代表取締役 宇角英樹

れてくればそれでよい。

とりあえずの狙いは、その人に能力があるように思わせることである。そう思わせ続けると、その



人はほんとうにそのような能力のある人間になる。ほんとうである。次のような実験の話を読んだことがある。アメリカでの話である。同じ能力の学生を同数の二つの

グループに分ける。それぞれのグループに対して、同じ先生が、同じ科目を同じ内容で、同じ状態のもとで、つまり、まったく同一の授業を同じ期間行った。

その後、試験を行った。ところが試験結果を返すとき、一つのグループには採点をきちんとして、一人一人に間違いや問題をコメントしながら返した。ところがもう一方には、答案を返却せず、ただ、「年度の試験は全員が非常によくできた。期待しているから次の試験もがんばれ」と言う。

このような対応を何回か繰り返した結果、常にホメられたグループの成績は他のグループよりも数段上がったという。この理屈がわかれば人を活かせる。事例は次回に。

71年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話(03)3946-0531 <代表>

<発明相談> 9月22日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所指導課(23-1181内線62番)にお申込み下さい。